

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～24	日 本 史	26～41
世 界 史	42～61	地 理	62～69
数 学	70～75		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。  
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. **数学**は以下の注意事項に従うこと。
  - ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - ・解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (地 理)

〔 I 〕 標高の高い地域における気候，植生，生活文化に関するつぎの文章を読み，以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

気温は標高が高くなるにつれて“気温の遞減率”にしたがって低下していくため，標高の高い山岳や高原地域には気候帯の垂直分布がみられ，高地に特有な気候が形成される。この気候は高山気候として区分され，エチオピア高原，パミール高原，メキシコ高原，<sup>①</sup>ロッキー山脈などに分布している。もともと気温と〔ア〕で分類するケッペンの気候区分には高山気候は設定されていなかったが，標高の影響を著しく受ける地域であることから後に追加された。そのため，高山気候は他の気候区と重複することとなった。たとえば，アンデス山脈の山頂付近やチベット高原は〔イ〕気候と高山気候の両方に区分される。

高山気候が分布する標高は，低緯度で3000m以上，中緯度で2000m以上となる。気温の年較差は低緯度ほど小さく，中・高緯度では大きくなる。ボゴタ，メキシコシティ，ラパスなどは2000mを超える高地にもかかわらず常春ともよばれる温暖で暮らしやすい気候であり，古くから高山都市として発達してきた。インカ文明の都として栄えたペルーのクスコも高山都市であり，世界遺産に登録されている。高山都市を訪れる人々は，低い気圧と酸素濃度によってめまいがしたり，吐き気をもよおしたりすることもある。

気候帯の垂直分布に従って，植生も垂直分布をしめす。赤道に近い地域では，標高が高くなるにつれて熱帯雨林から雲霧林まで木本植物が優占する樹林帯が分布し，それより上は草本植物が優占する草原地帯となる。農作物も標高に応じて栽培されている。アンデス地方を原産地とするナス科植物の〔ウ〕は寒さに強く，低緯度地域なら4000mくらいまで栽培されている。草原地帯では牧畜が行われ，衣食用として南アメリカ原産でラクダ科の〔エ〕などの家畜が飼育されている。冬の寒さが厳しいチベット高原の草原では，夏の間ウシ科の家畜である〔オ〕や羊の遊牧が行われている。

問1 文中の空欄  ～  それぞれにもっとも適する語を記せ。

問2 文中の下線部①について、高山気候の気候区分を表すケッペンの記号を記せ。

問3 文中の下線部②に関連して、高山気候の特性について述べたつぎの文章A～Dを読み、それぞれの文中の空欄  ～  に入る適切な語句を以下のa～fの中から選び、その記号を記せ。同じ記号を複数回選んでもよい。

A 低緯度地域の標高3000m前後の高地では、湿度が  ので独特な景観をもつ樹林帯が広がる。

B 高地では同緯度の低地に比べて、気温の日較差は  。

C 高地の気温の日較差は緯度が高くなるとより  。

D 高地では空気の量が少なくなるので日射や紫外線の量は同緯度の低地に比べて  。

- |       |       |      |
|-------|-------|------|
| a 大きい | b 小さい | c 多い |
| d 少ない | e 高い  | f 低い |

問4 文中の下線部③における3つの高山都市はいずれもラテンアメリカに属する国の首都である。これらの高山都市の中には首都として世界でもっとも高い標高に位置するものが含まれている。その首都とその首都をもつ国の名称をそれぞれ記せ。ただし、首都名および国名は正式名称でなくてもよい。

問5 文中の下線部④に関連して、高地を訪れる人々の中にはスポーツ選手も含まれる。スポーツ選手が高地を訪れる理由について、高地環境と身体機能に関連づけて40字以内で説明せよ。ただし、句読点も1字と数える。

問6 文中の下線部⑤について、樹林帯と草原地帯との境界の名称を記せ。

## 地理

問7 赤道直下にあるエクアドルの首都キトと都市グアヤキルはそれぞれ高山都市とその外港である。キトとグアヤキルの年平均気温における気温差を“気温の逡減率”を使って推定しなさい。ただし、キトとグアヤキルの標高差を2800mとして計算し、小数第二位を切り上げ、小数第一位まで記せ。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

工業原料や工芸品の原料として利用するために栽培される作物を工芸作物という。食用になる作物でも、工業原料として生産され、工芸作物に分類されるものがある。さまざまな方面の用途がある、工芸作物のいくつかの種類とそれに当てはまる作物を表1に示す。

〔A〕はアオイ科の植物で、起源の異なる複数の種類があり、それぞれの原産地は、アフリカ、インド、中南米とされている。種子表面の毛を使い〔1〕をつくる。天然〔1〕の中では〔A〕からつくられるものが最も多い。

〔B〕はシナノキ科の一年生草本で、インドまたは中国の熱帯地域が原産地とされている。茎から〔1〕をつくり、製品名も〔B〕と呼ばれる。製品は主に〔あ〕などに使われる。

〔C〕は西アフリカを原産地とする、熱帯地域で育つ高木で、果肉と種子から製品を採取する。果肉からとったものを〔D〕と呼び、種子からとったものを〔E〕と呼ぶ。製品は食用にするとともに〔い〕の原料にもなる。大規模なプランテーションでの栽培が主体であるため、栽培がもたらす環境影響が問題となっている。

〔F〕はイネ科の多年草で、ニューギニアとその周辺が起源地とされている。茎から汁液を絞り出したあと精製する。この搾りかすを発酵させてアルコールをつくり、〔う〕として利用している地域がある。

〔G〕はナス科の植物で、南米が起源地とされている。葉を乾燥させたあと加工する。この製品の使用に伴うさまざまな影響が懸念されており、この製品の規制に関する枠組み条約が2003年のWHOの総会で採択され、2005年に発効した。

地理

表1には入っていない主要な工芸作物に **H** がある。**H** はアマゾン原産のトウダイグサ科の高木であり、樹皮に切り込みを入れて出てくる乳液を集めて加工する。製品は多様な機器の部品や材料として使われている。また、**え** を原料として同様の製品がつくられている。

表1 工芸作物の種類と例

種類	例
<b>1</b> 作物	<b>A</b> <b>B</b> 亜麻 <small>ちよま</small> 苧麻
<b>2</b> 作物	<b>C</b> ナタネ 大豆 ヒマワリ
<b>3</b> 作物	<b>F</b> テンサイ
<b>4</b> 作物	<b>G</b> 茶 コーヒー カカオ
染料作物	藍 ベニバナ
薬用作物	シャクヤク カンゾウ(甘草)

問1 文中および表1の中の空欄 **1** ~ **4** それぞれにもっとも適する語をつぎの a ~ e の中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- a 繊維      b 嗜好      c 飼料      d 糖料      e 油料

問2 文中の空欄 **A** ~ **H** それぞれにもっとも適する語を解答欄に記せ。

問3 文中の空欄 **あ** ~ **え** それぞれにもっとも適する語をつぎの ア ~ シの中から選び、その記号を解答欄に記せ。

- ア 衣類      イ 絵具      ウ 紙      エ 自動車燃料  
 オ 石炭      カ 石油      キ 石けん      ク 天然ガス  
 ケ 帆布      コ 袋      サ みそ      シ ローソク

表2 工芸作物の生産量(百万トン)と生産国上位5か国のシェア(%)

作物	世界の生産量	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
A	25.5	W	X	アメリカ	Y	パキスタン
		23.6	19.2	17.0	10.5	6.1
B	2.7	W	バングラデシュ	X	ウズベキスタン	ネパール
		67.2	29.9	1.4	0.7	0.4
D	74.6	Z	マレーシア	タイ	コロンビア	ナイジェリア
		57.5	26.6	4.1	2.0	1.6
F	1869.7	Y	W	X	パキスタン	タイ
		40.5	19.8	5.8	4.3	4.0
G	5.9	X	W	Y	ジンバブエ	Z
		36.3	12.9	11.9	3.4	3.4
H	14.8	タイ	Z	ベトナム	W	コートジボワール
		31.7	22.7	8.3	6.5	6.3

資料：『世界国勢図会2022/23』『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』により作成

AとDは2019年，その他は2020年の値。

問4 表2は A , B , F , G , H からつくられる製品と D に関して，世界の生産量と生産国上位5か国のシェアを示したものである。表2の中の W ~ Z に当てはまる国名を解答欄に記せ。ただし，国名は正式名称でなくてもよい。

問5 表2の A , B , D , F , G および H のうち，日本で商業的に栽培されている工芸作物の作物名をすべて解答欄に記せ。

地理

〔Ⅲ〕 つぎの文章は、EU加盟国のうち5か国について述べたものである。各文を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

A この国は最南部の (1) 山脈を除けば国土の多くは平原で、一部が (2) 海に面する。東部と南部は ア 気候、北西部は イ 気候となっている。農業国で、ライ麦についてはドイツとともに世界有数の生産国であり、他にてんさいやえん麦などの栽培がさかんである。東欧革命後は民主化と経済開放を進め、多くの出稼ぎ労働者を送り出している。南西部にある (3) 炭田などから採掘される石炭による火力発電に電力を頼っており、大気汚染が深刻な問題になっている。

B この国はヨーロッパ大陸のほぼ中央に位置し、国土の大部分は (4) 山脈東部の山地が占めている。国土の多くは イ 気候に位置する。首都は国土を東西に流れる (5) 川の盆地にあり、かつて巨大な帝国の中心都市として栄えた歴史があり、多くの観光客を集める。永世中立国であり、国際機関の本部がいくつも置かれている。<sup>①</sup>

C この国の国土の中央には (1) 山脈が南北に走っており、南の国境沿いを (5) 川が流れ (6) 海に至る。国土の大半は イ 気候、または温暖湿潤気候の農業国である。 (5) 川の沿岸部の沖積平野では混合農業が行われ、トウモロコシの輸出量はEUでもトップである。石油や天然ガスの産出国であり、食品・繊維・鉄鋼・機械などの工業が発達している。この国では東方正教が広く信仰されている。

D この国は (7) 半島などの半島部とその周辺に浮かぶ数多くの島々を中心とし、国土は平坦である。全土が イ 気候に位置する。協同組合組織による酪農が営まれている。産油国であり、 (8) 海では石油のほか天然ガスを産出する。その一方でバイオマスや風力といった X への転換を進める国としても知られる。金属・機械・造船・化学工業のほか、首都周辺で

はバイオ産業などの先端技術産業が集積している。福祉国家としても知られる。

E この国は (9) 半島などの半島部を中心とするが、 (10) 海などに浮かぶ島々も含まれる。国土の8割が山岳丘陵地帯で、 ウ 気候となる。古代から多数の都市国家が成立した。造船や石油化学などの工業、また海運業が盛んである。2008年以降の景気の後退にともなって財政危機が表面化し、EUからの支援を受けた。

問1 A～Eに当てはまる国の名称を解答欄に記せ。ただし正式名称でなくてもよい。

問2 文中の空欄 (1) ～ (10) それぞれに最も適する語句を解答欄に記せ。同じ記号の空欄には同じ語句が入るものとする。

問3 文中の空欄 ア ～ ウ それぞれの気候に該当するケッペンの気候区分を解答欄に記号で記せ。

問4 文中の空欄 X に最も適する語句を解答欄に記せ。

問5 文中の下線部①について、B国の首都に本部を置く国際機関名を2つ、解答欄に記せ。ただし、正式名称でなくてもよい。

問6 EU統合にともなって1995年に締結された、国境を越えた人の移動の自由化を定めた協定の名称を解答欄に記せ。またA～Eの中で、この協定に基づく自由化が行われていない国はどれか。記号で解答欄に記せ。